



車いすで各地を巡る三三代達也さん。9カ月かけて世界一周も敢行したJR静岡駅北口

静岡市の知人を訪ねた三三代さん話を聞いた。茨城県出身の三三代さんは、高校3年の冬にバ

車いすの持ち手にリュックを掛け、膝の上には大きなバック。両手足まひの障害がある三三代達也さん(33)は、単独で国内外を飛び回る「車いすトラベラー」。9カ月かけて世界一周を敢行した体験談は、発見や希望の数々に驚かされる。「旅で出会った誰かの背中を押すことができればうれしい」と前進を止めない。

世界一周 車いすトラベラー

33歳三三代さん希望、挑戦の道

記事を読んで、問いに答えましょう。

①三三代達也さんが「車いすトラベラー」と言われるようになった理由は何ですか。

②師匠からの指令を受けて実行することにより、三三代さんが気付いたことを書きましょう。

③あなたは「希望を失って何もする気にならない」と思った時のことと、それを乗り越えたきっかけを書きましょう。

「誰かの背中 押せるように」

実感のない説明に涙も出なかったという。

甘ったれてるな

剣道一家に育ち、身長は約190センチ。かつて励んだガソリンスタンドのアルバイトでは、接客の東日本大会で入賞するほど力が有り余っていた。事故の後には懸命のリハビリで肩や足が少しずつ回復したが、同時に限界も突きつけられた。リハビリで伊東市の施設へ移ったが、希望を失って何もする気にならない。ある日、同じ障害がある親世代の男性に「おまえ、甘ったれてるな」と声を掛けられた。「失礼だな」と思っただけで凶星、同情してくれる人ばかりだったので衝撃だった。

師匠からの指令

同室の縁で会話を交わすようになると、茨城への帰省に電車を勧められた。施設の仲間に助言をもらいつつ、不安を抱えながら新幹線に乗車。東京駅を降りると出迎えた母親は泣いて喜

んだ。「やっといいことをした気持ちになった。男性に報告したら『そいつのことだよ』」。男性のことは「師匠」と呼ぶようになった。

師匠からは「後もさまままな指令」が下された。東京で1人暮らし、職場との行き来障害者向けに旅行案内。自信を得る中でハワイへ単身旅行に挑み、28歳で世界一周の旅に出発した。

頼ってばかりが

困っている人を見たら、誰でも自然に行動を起こす。「自分の旅に触れた人が、ためらっていた1歩目を踏み出すことにつながるかもしれない」。人生の旅にテーマが定まった。

事故で車いす生活をおくっているという東北の女性から、友達になってほしいと連絡が届いたことがあった。世界一周を経て東京で報告会を開くと、「悩んでいた彼女が来てくれて、バイタリティーが感じられるまで変わっていた。人に頼ってばかりだと思っていた旅も、人の役に立てると気付かされた」。誰もが「誰かの師匠」になれると確信している。

(文化生活部・宮城徹)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう

解答例



2023年3月22日夕刊



車いすで各地を巡る三代達也さん。9カ月かけて世界一周も敢行したJR静岡駅北口

静岡市の知人を訪ねた三代さん(33)に話を聞いた。茨城県出身の三代さんは、高校3年の冬にバ

車いすの持ち手にリュックを掛け、膝の上には大きなバック。両手足まひの障害がある三代達也さん(33)は、単独で国内外を飛び回る「車いすトラベラー」。9カ月かけて世界一周を敢行した体験談は、発見や希望の数々に驚かされる。「旅で出会った誰かの背中を押すことができればうれしい」と前進を止めない。

世界一周 車いすトラベラー

33歳三代さん希望、挑戦の道

記事を読んで、問いに答えましょう。

①三代達也さんが「車いすトラベラー」と言われるようになった理由は何ですか。

- ・バイク事故で頸髄を損傷して両手足の障害があるのに、一人で行動しているから
- ・リハビリ施設で同室だった、同じ障害のある男性からの助言をもらいながら、一人で行動したり旅行したりすることができるようになったから など

②師匠からの指令を受けて実行することにより、三代さんが気付いたことを書きましょう。

- ・自分の旅に触れることにより、人に頼ってばかりと思っていた旅も、人の役に立っている。
- ・自分のための旅であっても、旅で出会った誰かの背中を押すことができる。 など

③あなたは「希望を失って何もする気にならない」と思った時のことと、それを乗り越えたきっかけを書きましょう。

- ・サッカーチームのレギュラーになれなくて、へこんだ。→いつでもピンチヒッターとして出場できるように練習は欠かさず行い、チャンスを狙おうと考えを切り替えた。
- ・思っていたよりもテストの点数がかなり悪く、落ち込んだ。→答案を見直し、間違いの内容を分析し、正解を導き出せた。

「誰かの背中 押せるように」

実感のない説明に涙も出なかったという。

甘ったれてるな

剣道一家に育ち、身長は約190センチ。かつて励んだガソリンスタンドのアルバイトでは、接客の東日本大会で入賞するほど力が有り余っていた。事故の後には懸命のリハビリで肩や足が少しずつ回復したが、同時に限界も突きつけられた。

リハビリで伊東市の施設へ移ったが、希望を失って何もする気にならない。ある日、同じ障害がある親世代の男性に「おまえ、甘ったれてるな」と声を掛けられた。「失礼だな」と思っただけで凶星、同情してくれる人ばかりだったので衝撃だった。

師匠からの指令

同室の縁で会話を交わすようになると、茨城への帰省に電車を勧められた。施設の仲間に助言をもらいつつ、不安を抱えながら新幹線に乗車。東京駅を降りると出迎えた母親は泣いて喜

んだ。「やっというこをした気持ちになった。男性に報告したら『そいつうごたよ』と。男性のことは「師匠」と呼ぶようになった。

師匠からはその後もさまざま「指令」が下された。東京で1人暮らし、職場との行き来障害者向けに旅行案内。自信を得る中でハワイへ単身旅行に挑み、28歳で世界一周の旅に出発した。

頼ってばかりが

困っている人を見たら、誰でも自然に行動を起こす。「自分の旅に触れた人が、ためらっていた1歩目を踏み出すことにつながるかもしれない」。人生の旅にテーマが定まった。

事故で車いす生活をおくっているという東北の女性から、友達になってほしいと連絡が届いたことがあった。世界一周を経て東京で報告会を開くと、「悩んでいた彼女が来てくれて、バイタリティーが感じられるまで変わっていた。人に頼ってばかりかと思っていた旅も、人の役に立てると気付かされた。誰もが「誰かの師匠」になれると確信している。

(文化生活部・宮城徹)

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 中村都(静岡市立井宮小学校 教諭)

(小学校高学年～中学校/道徳)